

科目名	がん看護学実習Ⅲ				分野・必選別・単位数	専門科目 (がん看護学)	選択	3単位
担当教員	◎教授 南川雅子					科目ナンバー	T2C139	
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	実験・実習	
授業の概要	がん看護専門看護師としての役割や機能を発揮するために必要な知識、技術、態度について体験的に学習し、専門看護師としての高度な看護実践能力を習得する。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 臨床において実践、相談、教育、調整、倫理的調整、研究を行い、自己の実践的基礎能力について評価できる。 実践的基礎能力の評価に基づき、自己の課題および解決方法を明確にできる。 							
授業計画	回数	担当者	行動目標					
	<p>【1週目～3週目】病棟実習</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践: 患者を数名受け持ち、看護過程を展開して高度な看護実践を行う。 相談: 看護スタッフからコンサルテーションを受ける機会を意図的にもち、理論的に分析して臨床に還元する。 教育: 受け持ち患者の事例検討会またはがん看護専門分野に関連する勉強会を開催し、看護スタッフに実践のモデルを提示する。 調整: 受け持ち患者へのケアが円滑に提供されるために、医療チームの調整を行う。 倫理的調整: 受け持ち患者に限らず、病棟内で生じている倫理的葛藤の調整方法について考える。 研究: 実践の場における課題から1つを選択し、研究のプロセスをふんで新たな知見を見出し、看護への提言を行う。 							
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	実習目標達成に向けて、主体的に事前学習や記録に取り組む。						
	【事後学修】	実習中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、翌日までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	当該期間に45時間以上の予復習が必要。						
教科書	随時紹介する。							
参考書	随時紹介する。							
成績評価の方法および基準	各役割のレポート80%(実践20%、相談20%、教育10%、調整10%、倫理的調整20%)、総合レポート20%により評価する。							
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3およびDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。							